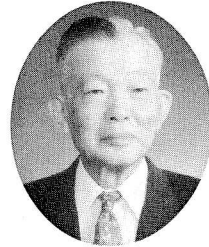


# おおとり会だより

## 社会集団への 旺盛な貢献精神を

— 退官にあたって —

静岡県立大学元学長 星 猛



静岡県立大学の第二代学長の任期をこの三月末をもって満了し、退官致すことになりました。おおとり会の皆様にも御挨拶できるのはこれが最後の機会となりますが、静岡女子短期大学、静岡女子大学を経て静岡県立大学へと変遷して来た大学の現状をご報告し、御挨拶とさせていただきます。

本学が出来ます時、設立準備会で取り上げられた基本的な考えは、来るべき二十一世紀は国際化、情報化、高齢化の進む社会の中で活躍しうる人材の養成という事でした。そして、それぞれの学問分野を確立する為の新しい学部が出来、静岡薬科大学から移行した薬学部と併せて四学部でスタートしたわけです。新しい学問分野を開拓する為にはどうしても研究を重視せざるを得ません。そして、それを基盤にした教育内容の充実も必要です。創設以来、十二年が経過しましたが、その間大学院の充実が重要であるとの認識の下に生活健康科学研究科（修士及び博士課程）、国際関係学研究所（修士）、経営情報学研究科（修士）が整備され、薬学研究

科と合わせて全学部に対応した研究科が備わりました。平成九年度よりは看護学部、環境科学研究科をスタートし、教員の数も増え、全体的な規模も大きくなり、高等教育の体制もかなり充実して来ました。

過去十年間の歩みを振り返りますと、新しく出来た組織それぞれの充実と研究・教育体制の基盤整備に努力が払われた時期とも申せます。これからは更に内部的な努力によって横の連携をもとに、新たな機能を発揮する時期であると思えます。その為に評議会で時間をかけて、今後十年或いは二十年先を見通した本学の将来構想（さらなる発展を目指して）を作りました。これからは競争的な環境の中で光輝く大学になければなりません。その為には本学の特色を出来るだけ鮮明にし、魅力あるもの、世界に貢献できるものにしていかねばならないと考えております。その構想の中で、少しユニークなのは本学に特色ある学園文化を作ろうというのがあります。その基本的な考え方は西欧文化或いは西欧文明を支えてきた社交文化のスピリ

ット、中でも重要な社会集団に対する貢献の精神を旺盛にしたいということがあります。これは学園を真に良くするのみならず卒業生が社会に出てからも成功へ導く重要な考え方であると思います。 おおとり会の皆様方もどうか新しく移り変わりゆく大学を見、その中に育まれつつある学園文化のことを思い、それぞれに属している社会や地域に貢献の精神を発揮して頂きた

### 星 猛 学長退官記念祝賀会 静岡県立大学



退官記念パーティー 於ホテルセンチュリー

いと願っております。人間の知的活動や教育は永遠のものです。建物や名称が変わっても教育の精神、学問、知的活動の精神は永遠のものであります。それは次々と、この静岡の地においても継承されて社会に対する役割を演じていくものです。これからも発展しつつ変貌していくこの静岡県立大学を何卒見守っていただくことをお願いして挨拶とさせていただきます。

# 仕事・子育て・ご自分

中谷 紀久子

大学を卒業したのが昭和五十二年。当時も今と同様就職難で、特に女子大生の求人ほとんどなく、結局、絶対なるまいと思っていた教職の道に進むことになりました。

半年遅れて正式に中学校教員に採用されたのですが、二年後には結婚し、二度の出産、育児と二十代は夢中で過ぎてしまいました。

核家族のため、子供の保育は大問題、保育園の送りは夫の受け持ちでしたが、迎へはいつも時間との闘いでした。閉所時刻から学校を出る時間を逆算し、それまでは一分でも惜しんで仕事を片付け、三十キロの道のりを毎日車を飛ばして帰りました。時間を気にせずゆったり仕事のできる男性教師が羨ましく思えました。

そんなぎりぎりの時代が過ぎ、今はある程度ゆとりが持てるようになりました。子供たちは、内心寂しい思いをしていたのかもしれませんが、保育園、学童保育で多くの方々にお世話になり、母親が働くことをごく普通のことと受け止めて育ってくれました。

六年前、養護教育に携わることになって、子供に対する見方が変わってきました。初めて担任したのが情緒不安定の子のクラスで、ちよっとしたこと

がきっかけで一日中パニックを起こしている子、突然乱暴したり奇異な行動を起こす子など、毎日気の休まることはありませんでした。でもよく考えてみると、彼らの行動には必ず理由があり、自分の気持ちをそういう形で表現しているのだとわかりました。彼らの

## 可能性を信じ 研究に専念

私は現在、浜松医科大学大学院医学研究科博士課程に在籍し、第一内科の腎臓グループで透析患者さんの栄養障害および代謝異状の研究を行っております。

今からちょうど一年前、私は人生で二度目の決断を下しました。一度目は県立大学大学院の受験、そして二度目は浜松医大大学院の受験です。県大での修士論文も仕上げ、次の目標を探していたのかもしれませんが、慌ただしく受験の準備に追われ、受験前日に宿泊したホテルで自分のこれまでの生き方を感じ深く思い起こしたことが昨日のことのように思い出されます。

私は小学生の頃、腎臓の病気で二年半の入院生活を送りました。言い尽く

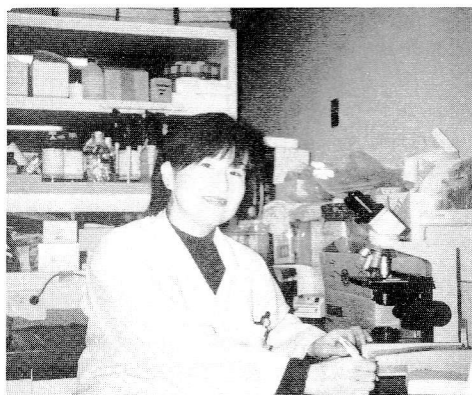
すべてを受け止めることは困難ですが、気がつく、自分の子を怒りに任せてしかるものがなくなっていました。

昨年、再び普通中学に戻り、子供たちが前と変わってきていると感じています。学校には多くの課題が山積みされていますが、私は一人一人の子の人生に少しでも関わられる幸せを大切に、もう少し教師として歩いてみたいと思っています。

(国文学科 大学七回生)

小田巻 眞理

せない日々と背負った物は生涯消えるものではありません。自分自身とその運命を恨み、「諦める」という逃げ道を覚えました。そして、そんな自分を愛



容し、共存していこうと決心するのに大変長い時間がかかりました。

しかしながら、自暴自棄気味だった当時「一人で生きていく」と豪語していた私が改めて思うことは「自分一人ではいきてこれなかった」ということです。様々な場面でいろいろな方にお世話になり今日の私があります。これからも、さらに多くの方に助けただけになるでしょう。

私は幸いにも自分のやりたいことが「できる」環境と「やるんだ」という人生観を持ち合わせることができました。このことは大変有り難いことだと思っております。

まだまだ勉強中の私ですが、皆様への感謝の気持ちと生きる価値を見出せずにいた頃の自分を忘れずに、研究に専念していきたくと考えております。

(食物学科 大学十六回生)

小田巻さんは食物学科卒業の後、十年程教育関係の仕事をされ、ご自分の入院の経験から、腎臓病の食事療法に興味を持たれ、「とに角、やってみよう」と云う気持ちから浜松医科大学大学院医学研究科博士課程に進学、研究生活に専念されております。

「私を含めて最初の一步と云うものは大変な勇気と決断が要るもの、しかし一歩進めば、違った世界が開けるはず。自分の可能性を信じて是非トライして欲しい」というメッセージも頂きました。

# 二十八年目の近況報告

渡辺 領

「おとり会」の会報に寄稿をとのお電話を頂いたのは一月半ばの朝だったと思う。朝と云っても決して早い時刻ではないが、私にとっては充分朝であった。理由は簡単、永年の生活パターンが私を朝寝坊にしたのである。そして、その原因を紹介することが卒業以来二十八年振りの近況報告という訳である。

永年の生活パターン・・・卒業以来二十五年余り私はある業界の仕事が続けている。卒業当時私は謂ゆる就職と云うものをしなかった。それは子供の頃から好きだった芝居の世界への未練だったと思う。その気持ちがある劇団の研究所演出部の受験に繋がった。合格するためには「被服科卒→衣裳班」簡単な図式である。思惑通り合格はしたものの、仕事のハードさはかなりなものであった。然るミュージカルの初演の折には、約一ヶ月間、家にも帰らず劇団と劇場に泊り込み、徹夜も含め平均睡眠時間二、三時間という状況で初日を迎えた経験もある。しかし、こんな劇団に私は十八年間も在籍したのである。何故か？それは私にとってその価値があったからだと思ふ。退団してから七年、その間衣裳以外の仕事も経験した。芝居以外にも歌モノやバ

レエ、そして十代のアイドルから七十代のベテラン俳優、外国の役者まで、



## 高校二年生とともに

岡田 壽子

私は私立の中高一貫のミツシヨンスクールに勤めています。反抗期が始まる中一、自分とは何かを求めて疾風怒涛のようにゆれる中二、中三、少しずつ自分を客観視できるようになる高一、学校のリーダーとして大きく成長する高二、将来に向って

とにかく幅広く仕事をこなせたのもあの十八年間の現場での生きた経験のおかげだと思っている。

朝寝坊の話に戻ろう。以前から私は一つの習慣がある。夜、布団に入ってからその日のテンションをおやすみモードにするために本を読むのである。

例の劇団は朝が早かった。従って朝寝坊は出来ない。しかし今は概して昼前後からの行動開始が多い。従って時間

努力する高三と六年間の生徒の成長を目のあたりにしました。今年は高二に所属し、学園祭を担当しました。

高二、それは忙しい一年ですが人間的には大きく成長する一年です。私の学校は、クラブは全員必修で、高二になると全員何らかの形でリーダーの役割を果たすことになりました。九月にはクラブ発表を中心にした学園祭があります。発表を巡って意見対立があったり、遅くまで残って準備したり、学習との両立もなかなか大変です。しかし下級生を率いる立場になって、人の上立つ苦労と集団をまとめる喜びを体験します。舞台発表のクラブでは、道具をどこで出し入れするかなど、クラブを越えて細かく打ち合わせます。あるクラブが練習場を実行委員に無断で計画外に使ったことがあります。私は、まあ日も迫っているし空いていたのだからいいか、と思ったのですが、

に余裕がある。それは気持ちの余裕になる。そして夜の習慣の余裕だと錯覚する。ある朝、電話が鳴った。「もしもし、同窓会の・・・」  
女子大一回生、二十八年目の近況報告である。

(被服学科 大学一回生)

渡辺さんは劇団「四季」の衣裳部に十八年間在籍されていました。

担当の生徒は、不公平になる、他のクラブは納得しないと言うのです。細かく計画している実行委員の配慮や、各クラブの入れ込みを知って、クラブが生徒達にどれほど大きな力を持っているか知らされました。

加えて高二は校内の委員会活動でもリーダーです。下級生にも何らかの形で活躍する場を考えたり、先輩の業績に加えて、より良い新しい活動を工夫したり、一生懸命です。

学園祭、体育祭、四泊五日の修学旅行等の行事をやりぬき、友達の大切さすばらしさを知り、人との関わりの大切さを学んで、精一杯燃えつきると、次には自分の目標に向って学習に集中して大きなパワーを発揮します。

生徒達が行事を通して人間関係を学び、大きく成長する姿を見ることができた一年でした。

(英文学科 大学一回生)

# 総会だより

## 蔭山昌弘先生の

### 講演を聴いて

大学三回卒の私達の年代は、多くが十代から二十代初めの子供を抱える母親であったり、あるいは、職場や地域で中堅の役目を担ったりしている。そういう年代から申し上げると、今回の講演は、身につまされるものだった。

お話の中の一つに、高校生の学級担任として、「学級通信」を出している、ということがあった。正直、驚きだった。私自身、子育て街道の道中で出会った「学級通信」が、「子供たち」をして、「輝く目」になさしめる、の恩恵を実感してきた。が、それとて幼少期までのことと、思い込んできた。

しかし、青年期の「学級通信」が、「青年たち」をして、「輝く目」になさしめる実践教育があることを知り、かなり驚きだった。

講演終了後、兵庫県から駆けつけてくれた高校教師をしている同期生に、「是非、教育組合の研修会講師にお招きしたい。著書なども紹介して欲しい。」と、声を掛けられたほどでした。

(当番幹事)

## 叙勲祝賀会

去年七月十一日、榛葉良之助先生の「勲三等旭日中綬章」叙勲祝賀会が、食物学科同窓生の皆さんにより盛大に開催されました。



於ホテルアソシア静岡ターミナル

## 「ほたる」歌碑建立祝う

三月十四日、高嶋健一先生の歌碑除幕式が行われ、短歌結社「水甕」（みずがめ）の会員、同窓生らが歌碑の建立を祝いました。



於清水市船越堤公園・小川のせせらぎ前

## 平成9年度決算報告書

自平成9年4月1日 至平成10年3月31日

| 収入の部   |             | 支出の部         |            |
|--------|-------------|--------------|------------|
| 前年度繰越金 | 16,985,294円 | 総会開催費        | 87,923円    |
| 受取利息   | 300,276     | 会報発行費        | 497,480    |
| 通信費振込  | 136,000     | 会議費          | 36,354     |
| 雑収入    | 92,232      | 事務費          | 1,650      |
|        |             | モニュメント企画デザイン | 200,000    |
|        |             | モニュメント制作費    | 2,000,000  |
|        |             | 運搬据付工事       | 500,000    |
|        |             | 雑費           | 33,915     |
|        |             | 次期繰越金        | 14,156,480 |
| 計      | 17,513,802  | 計            | 17,513,802 |

### 繰越金の内訳

|      |             |          |            |
|------|-------------|----------|------------|
| 定額預金 | 10,283,631円 | 普通預金     | 5,741円     |
| 債券投信 | 3,441,256   | 書籍       | 141,600    |
| 通常預金 | 108,627     | テレフォンカード | 4,620      |
| 普通預金 | 80,214      | 現金       | 90,791     |
|      |             | 合 計      | 14,156,480 |

## 平成10年度収支予算案

自平成10年4月1日 至平成11年3月31日

| 収入の部   |            | 支出の部  |           |
|--------|------------|-------|-----------|
| 本部会計より | 1,000,000円 | 総会開催費 | 150,000円  |
|        |            | 会報発行費 | 500,000   |
|        |            | 会議費   | 40,000    |
|        |            | 事務費   | 10,000    |
|        |            | 予備費   | 300,000   |
| 合 計    | 1,000,000  | 合 計   | 1,000,000 |

11月2日 剣祭バザー収益金 32,800円

# 編集後記

○平成10年度、ご退官の星猛学長、高瀬幸子先生、中田健次郎先生、本当にお世話になりました。益々の御活躍と御健勝をお祈りいたします。

○今回は各方面で、常に前向きな姿勢で、着実にご自分の道を歩まれている方々に、原稿をお願い致しました。同窓生の方々のご努力は、私達にとりまして本当に大切な応援歌のように思えます。

○県立大学「剣祭」での恒例のバザーも、好評の内に楽しく行うことができました。多数の方々のご協力を頂きまして有難うございました。若い学生達のエネルギーを分けてもらいつつ、学生の頃を思い出す貴重な一時です。是非一度お越し下さい。

○「おとり会だより」の編集を担当して下さいました食物科幹事の、平野美恵子さんが、平成十年五月三十一日に急逝されました。編集会議での朗らかなお声が忘れられません。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

○谷田の山は、春の満開の桜、初夏のみずみずしいつつじ、秋の紅葉と四季折々、私達の気持ちを和ませてくれます。彼方に仰ぐ富士山は、変わらぬ優雅さと平穏を与えてくれます。人生の一期として、是非、谷田の山にお寄り下さい。

○発行にあたり、お世話になりました皆様、有難うございました。